

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たいよう

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 08 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	該当者がいないので、利用者や家族に説明する機会はないが、契約時や活用の必要性が出てきそうな、家族に、説明し、理解してもらおう。	制度の資料やパンフレットを用意し、必要に迫られた利用者や家族に、職員が、いつでも説明出来る体制を確立するための、研修を実施していく。	12ヶ月
2	14	人権教育、啓発活動	職員会議やミーティング時に、理念を唱和したり、利用者のプライバシーに関する話を、職員間でしているが、今後、記録の整備を充実していく。	研修資料や、パンフレットを用意し、職員全員が、利用者の人権尊重に配慮し、運営推進会議等を通じて啓発活動につなげていく。	12ヶ月
3	37	災害対策	夜間想定避難訓練を、隣接の小規模多機能ホームと、協働で実施している。地域住民に協力を再度お願いし、参加していただく。	運営推進会議や家族会で、避難訓練の参加をお願いし、参加しやすい時間帯を設定し、避難訓練を実施していく。また、電気、ガス、水道が使用出来ない場合の、非常食、飲料水、毛布等の備蓄を用意していく。	6か月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。